

特別養護老人ホーム ふしの白寿苑

1 基本方針

入居者の尊厳を守り、安心して楽しく生活できる環境と良質なサービスの提供に努めます。
職員の人材育成に努め、経営感覚を意識してよりよいサービスの提供に努めます。
共生社会の一翼を担う地域福祉の推進と、信頼される施設づくりに努めます。

2 今年度重点事業目標

- (1) 全室個室ユニット型施設の特徴を活かした安定的経営
 - ア 「個室」の特徴を活かし入居者のプライバシーを確保するとともに「リビング」で他者とのコミュニケーションが図れるよう努める。
 - イ 一人ひとりに合わせた丁寧なケア(個別ケア)を行い、安心して普段の生活が送れるよう努める。
 - ウ 短期入所生活介護事業を併設している利点を生かし、地域の病院・施設・居宅介護支援事業所と連携していく。困っている高齢者およびその家族に対して、迅速かつ適切に必要なサービスを提供し、地域社会への貢献を意識した運営を行なうことで、施設経営の安定化(入所稼働率 96%、短期入所稼働率 95%)を図る。
- (2) チームと多職種連携による安全・安心な福祉サービスの提供
 - ア ケアプランは、本人および家族のニーズに真摯に向き合い、多職種間連携のもと、PDCA サイクルに基づいたケアを実施する。
 - イ 入居者の人権を守り、虐待、身体拘束、事故防止に取り組む。
 - ウ 認知症などによりコミュニケーションが難しい入居者の気持ちに寄り添ったケアに努める。
 - エ 多職種が連携し、口腔ケア、適切な食事形態、姿勢の調整などにより誤嚥性肺炎を予防するとともに、生活リハビリなどの楽しみ・なじみのある活動を通して、重度化予防と機能維持に努める。
 - オ 胃ろう注入や喀痰吸引等医療行為が必要な方に、安全な医療的ケアを提供する。
 - カ 家族や職員間の連携を密にし、その人らしい看取り期のケアが提供できるよう努める。
- (3) 適切な施設運営のための人材確保、人材育成、離職予防
 - ア 仕事への意欲向上ややりがいを感じられる職場環境の醸成に努める。
 - イ 職種別・階層別の研修を受講し、知識・技術の習得と職員の資質向上に努める。
 - ウ 介護知識、技術の未熟（未経験を含む）な職員へは、出来るだけ時間をかけて知識、技術の定着に努める。
 - エ 介護知識・技術の総合的な底上げを図るため、介護福祉士等の資格取得を推進する。
- (4) 家族交流と地域福祉の推進
 - ア 入居者の体調に留意しつつ、家族や地域との交流を図る。
 - イ 敬老会や秋祭りなど施設が行う行事を通じて家族や地域住民、ボランティアとの交流を図る。
 - ウ 居宅介護支援事業は、地域との連携を図り、地域で在宅生活を支えるという視点で支援を行う。
- (5) 働きやすい職場環境作りと安全衛生の充実
 - ア ICT 機器や介護記録ソフトの導入により、介護負担の軽減と入居者の安全・安心な環境づくりに努める。
 - イ 子育てや家族介護の支援など、ワークライフバランスを意識した働きやすい職場づくりに努める。